

多様な主体による 地域活性化

「棚田オーナー制」や「農業体験」「森林保全活動」などを通じて、都市住民や企業と連携した活動が盛んに行われているようになっていきます。



西行桜の森

- 平泉町長島深山95-741
- 東稲山さくらの会 等



金山棚田

- 一関市舞川字唐ノ子6
- 金山棚田playfarm



自然観察会

- 赤生津地域活性化協議会 等



イロハモミジの森

- 奥州市前沢生母字二子
- 生母生産森林組合、いわて生活協同組合 等



フットパス (散策イベント)

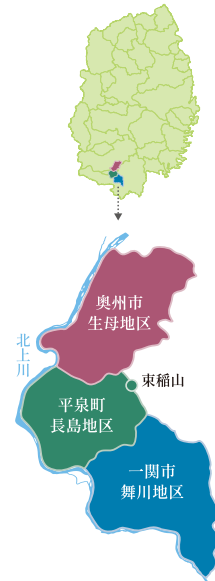
- 一関市舞川市民センター、赤生津地域活性化協議会、特定非営利活動法人みんなでつくる平泉 等

東稲山麓地域の概要

日本農業遺産に認定となった「東稲山麓地域」は、岩手県の南部に位置する北上川流域の農村地域です。奥州市生母地区、平泉町長島地区、一関市舞川地区にまたがる東稲山の西麓を指します。

山麓地域の西側には東北地方最大河川の北上川が流れ、対岸には世界遺産「平泉」を象徴する中尊寺などがあります。

東稲山麓地域にも、奥州藤原氏との関わりを示す神社・仏閣や、文化伝統が数多く残されています。



たばしね山麓のロゴマーク

東稲山麓地域、北上川、農家の家をモチーフとし組み合わせました。山地から山麓地、低平地まで、色を分けて表現。周囲のつながる3つの円弧は、共同・共助の精神を象徴するとともに、一関市舞川、奥州市生母、平泉町長島の各地区が地域一体となった農林業システムを表しました。

日本農業遺産とは

我が国において、重要かつ伝統的な農林水産業が営まれ、固有の農文化や農業生物多様性が育まれている地域（農林水産業システム）であり、日本農業遺産の認定基準に基づき、農林水産大臣により認定される制度です。



岩手県ホームページ



Instagram
@iwate_tabasan

東稲山麓地域農業遺産推進協議会

一 関 市 役 所 農 政 推 進 課 TEL 0191-21-8421
奥 州 市 役 所 農 地 林 務 課 TEL 0197-34-1764
平 泉 町 役 場 農 林 振 興 課 TEL 0191-46-5564
[事務局] 岩手県県南広域振興局農政部 TEL 0197-22-2841



日本農業遺産

東稲山麓地域

岩手県

一関市

奥州市

平泉町

東稲山麓地域の 災害リスク分散型 土地利用システム

個人による農地の分散所有と、地域の共同組織による共有林やため池、水路の管理が伝統的に行われてきたことで、災害に対する高いレジリエンス（適応力）を持った土地利用システムが300年前から受け継がれてきました。

また、移住者による棚田オーナー制の取り組みや、企業と連携した森林の保全など、多様な主体の参画による効果的な活動が行われています。

それらが高く評価され、「東稲山麓地域の災害リスク分散型土地利用システム」として、2023年1月に日本農業遺産に認定されました。

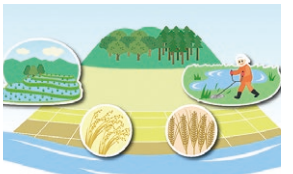
ポイント 1

東稲山麓地域は、度重なる洪水害や干ばつなどの自然災害に見舞われてきました。



ポイント 2

山地から低平地まで、地域一体となった立体的な土地利用や水源管理などの取り組みにより、自然災害のリスク分散を図る独自の農林業システムが構築され受け継がれてきました。



ポイント 3

豊かな農業生態系と個性ある文化が育まれ、独特の景観が形成されました。



いのち くらし 生命と生活を守る

東稲山麓地域の災害リスク分散型土地利用システム

災害に対応した リスク分散

立体的な土地利用を支える
共同・共助の仕組み

東稲山麓地域では、個人を基本としながらも、山地から低平地までの立体的な土地利用を支える共同・共助の仕組みが成立しています。現在では、低平地での農地の利用調整を営農組合が、米や麦・大豆などの転作作物の作付を農業法人が担っています。また、山麓地のため池などの水利施設や山地の森林は、地域の共有財産という意識の下、共同で管理しています。

当地域の農家は、約300年前から、低平地と山麓地に農地を分散所有しており、かつては主に山麓地で食料（米等）を確保し、水害リスクを抱えるものの肥沃で生産力の高い低平地で麻や桑などの商品作物を栽培。冠水による影響を低減するための作目選定や地域固有の栽培方式を確立しました。



洪水時の平泉町長島地区（2019年10月）

災害		個人（自助）	共同（共助）
山地	土砂災害		生産森林組合等 ●森林の保全管理 ●災害危険箇所への広葉樹植栽
山麓地	干ばつ	農地の分散所有	管理組合等 ●水路の掃除、点検、修繕 ●農業用水の利用調整
低平地	洪水害		農業法人等 ●作物の組合せ（米＋麦・大豆等） ●土地の高低差による作付場所の選定 高地：主食用米 低地：麦、飼料用米等

重層的なリスク分散



農地分散所有状況（令和3年度調査）

個々の農家が低平地と山麓地に農地を分散所有することで、低平地が洪水で水に浸かっても、山麓地で栽培する自分たちの食料は確保される。

豊かな生態系と 特徴的なランドスケープ



キクタニギク



トウキョウダルマガエル



サクラタデ



石積棚田



特徴的な山容を持つ東稲山



山麓側から見た
蛇行する北上川沿いの低平地



低平地で栽培される米

土地を立体的に利用することで多様な生態系が育まれており、希少な動植物をはじめ、660種以上の動植物が生息しています。東稲山が連なる山々、その山麓に展開する集落と棚田、その下に悠々と流れる北上川と低平地の水田や畑によって形作られる独特のランドスケープは、対岸の世界遺産「平泉」から見た景観として和歌などに詠まれ、地域の象徴として親しまれています。

コミュニティと農村文化の 継承

北上川を挟んで世界遺産「平泉」と隣接していることから、奥州藤原氏と関わりのある神社・仏閣が数多く残されています。また、地域内には、信仰の対象とされる数多くの巨石や、神楽や鹿子躍、獅子舞など、多くの伝統的な民俗芸能がコミュニティの継承に大きな役割を果たしています。

自然災害が多く厳しい条件下で、平泉文化との関わりを大事にしながらコミュニティや文化伝統を守り抜いてきた共同・共助の精神が、当地域のシステムを支える土台となっています。



山地



イロハモミジと植栽の様子



山麓地



水路やため池の維持管理



行山流舞川鹿子躍
（一関市舞川地区）